

2011年6月20日



PRESS RELEASE

森トラスト株式会社

〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-3-17
虎ノ門2丁目タワー
問い合わせ先: 広報部
TEL 03-5511-2255 FAX 03-5511-2259
URL <http://www.mori-trust.co.jp>

同時発表:

国土交通記者会
国土交通省建設専門紙記者会

中国における新規事業の開始および今後の展望について

森トラスト株式会社(本社:東京都港区 社長:森 章 以下「森トラスト」という)は、中核となる不動産事業・ホテル&リゾート事業を通じて国内の社会的ニーズに对应していくと同時に、投資事業を通じて、これまで蓄積してきた経営資源を活かした新たなビジネスを国内外で展開していくことで、社会と当社の持続的発展を目指しています。

この度、当社が資本参加している株式会社一休(本社:東京都港区 社長:森 正文 以下「一休」という)と、成長著しい中国における共同事業を検討してきた中で、中国国内向けの「高級ホテルに特化した宿泊予約サイト事業」を開始することで合意いたしました。

当事業については、当社にとっての海外事業の第一弾として位置付け、併せて同国における当社の今後の事業展望についてお知らせいたします。

【中国での事業展望】

今後飛躍的な成長が見込まれる中国の旅行産業の中で、中国国内での高級ホテルへの宿泊ニーズも高まっていくことが考えられます。

こうした中で、今般、一休と合意した共同事業では、中国国内でのインターネットを通じた宿泊予約市場がまだまだ低水準にあり、今後のインターネットおよびモバイルのインフラが整備されるに従い急成長が期待できることに着目し、中国国内向けの「高級ホテルに特化した宿泊予約サイト事業」を共同で展開していくことにいたしました。当事業の開始にあたっては、中国屈指の企業グループである鳳凰衛視(フェニックステレビ)グループとの提携により、同社グループが運営する中国有数のニュースポータルサイト、鳳凰網(URL: <http://www.ifeng.com>)のトップページからの誘導も予定しております。

森トラストにとって、当事業は本格的な海外での事業展開の第一弾と位置づけ、中国での事業実績とノウハウの蓄積を行い、将来的には中国における法人会員制高級ホテル事業や会員組織を活用したeコマース事業などへの展開に繋げていくことを検討しております。

経済発展を遂げる中国においては、優良な福利厚生に対して中国国内企業より一層の関心が向けられることが予想されます。当社グループが創業した法人会員制リゾート「ラフォーレ倶楽部」のノウハウと、都心一等地を中心に外資系高級ホテルを誘致・経営してきたノウハウなどを活用し、中国国内の企業をはじめ様々なニーズにも応えていきたいと考えています。

森トラストは引き続き国内外を問わず、これまで蓄積してきた事業ノウハウや経営資源を活かしながら、社会のニーズに对应、共益的な新たな事業を創造してまいります。

以上

■一休との共同事業の概要

1. 事業概要

森トラストと一休は、ケイマン諸島に「SPC」である合弁会社「MT Ikyu Inc. (仮称)」を設立し、その中国における100%子会社「一休森益有限公司(仮称)」を通じて高級ホテルに特化した宿泊予約サイト事業を中国において行います。

2. 合弁会社の概要

- | | |
|-----------|--------------------|
| (1) 商号 | MT Ikyu Inc. (仮称) |
| (2) 設立予定日 | 平成23年6月(予定) |
| (3) 本店所在地 | ケイマン諸島 |
| (4) 資本金 | 2,000万ドル(予定) |
| (5) 出資比率 | 森トラスト:50%、一休:50% |
| (6) 事業内容 | 「一休森益有限公司(仮称)」への投資 |

3. 中国子会社の概要

- | | |
|-----------|------------------------|
| (1) 商号 | 一休森益有限公司(仮称) |
| (2) 設立予定日 | 平成23年7月(予定) |
| (3) 本店所在地 | 中国北京市 |
| (4) 予定資本金 | 未定 |
| (5) 出資比率 | MT Ikyu Inc. (仮称):100% |
| (6) 事業内容 | 中国における宿泊予約事業の展開 |

4. 日程

- | | |
|-------------|-------------|
| (1) 合弁会社設立 | 平成23年6月(予定) |
| (2) 中国子会社設立 | 平成23年7月(予定) |
| (3) サイトの開始 | 本年中予定 |

■ラフォーレ倶楽部について

森トラストグループは1973年に、日本初の法人会員制リゾート「ラフォーレ倶楽部」を創業し、現在日本有数の企業約700法人、740万人からなる法人会員ネットワークを顧客としています。

会員が優先利用できる施設・サービスとして、自社グループで開発した日本を代表する主要リゾート地のホテル・ゴルフ場11施設（修善寺・強羅・伊東・山中湖・那須・白河・蔵王・中軽井沢・白馬八方・琵琶湖・南紀白浜）とシティホテル（東京・新大阪）2施設を中心に、厳選した提携ホテル・ゴルフ場約87ヶ所や、カルチャー・育児・教育・介護など、57の優待サービスなどを提供しています。

■一休.comについて

一休が運営する高級ホテルに特化した宿泊予約サイト一休.comは、独自の審査基準で宿泊施設を厳選しており、掲載ホテルに対する利用者の信頼の厚いサイトとして定評があります。多数の宿泊プランを特別レートで提供するほか、サイト運営を通じて蓄積された顧客ニーズを元に、一休.com限定の特別プランを企画するなど、掲載ホテルと一体となった商品開発なども行っています。また写真をふんだんに使用し、利用者が宿泊するホテルをイメージしやすいような工夫を随所にこらした、操作性のよいサイトデザインであることも人気の理由となっています。

■鳳凰衛視(フェニックステレビ)グループについて

香港に拠点を置く中国語圏向けテレビ局「鳳凰衛視」(フェニックステレビ、香港証取上場)を中核としたメディア企業グループです。フェニックステレビは中国版CNNとも呼ばれビジネスマンやエリート層の視聴者を中心に、硬派な番組を提供しています。東南アジア、欧州、北米、中南米、豪州など世界150カ国以上で視聴でき、中国本土だけで推定2億人の視聴者がいるとされています。北京大学マネジメント研究センターと中国の有力経済紙である経済観察報が共同で発表している「中国で最も尊敬される企業」に2001年から10年連続で選ばれており、中国で最も人気のあるテレビ局の一つです。また、フェニックステレビには、中国最大の移動体通信事業者であり携帯電話契約者数6億人超と世界最大規模を誇る「中国移动通信集团公司」(チャイナモバイル、香港・NY証取上場)のグループ会社が約20%を出資しています。

フェニックスニューメディア(NY証取上場)は、フェニックステレビの子会社で、主としてビジネスマンやエリート層が利用しているニュースコンテンツ中心のポータルサイト「鳳凰網(ifeng.com)」を運営しています。「鳳凰網(ifeng.com)」の月間来訪者数は2億2,000万人に達しており、CNNやBBCなどテレビ局が運営するサイトの中では月間ページビューは世界第1位となっています。中国の全ウェブサイトの中でも第8位のアクセスを誇っており、現在もなお急成長を遂げています。